

令和4年度 小金井市立緑小学校 第4学年 授業改善推進プラン

	1学期の成果	2学期以降への課題	具体的な改善策
国語	<ul style="list-style-type: none"> ○国語辞典や漢字辞典の使い方を知ることができた。 ○物語文を読み、登場人物の心情を読み取り、自分の考えを表現することができた。 ○必要な情報を記録しながら聞き、話の中心を捉え、自分の考えをもつことができた。 ○段落相互の関係を捉え、筆者の考えを読み取ることができた。 ○比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方を理解することができた。 ○漢字の学習に継続的に取り組むことができた。 ○読書週間や朝読書などを通して、本に親しむことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○国語の学習以外でも国語辞典や漢字辞典をすすんで活用することができるようにする。 ○登場人物の心情を読み取るときに、文章から根拠を見付け出すことができるようにする。 ○自分が聞きたいことを端的に質問し、聞き取ったことや必要な情報を自分の言葉で書くことができるようにする。 ○筆者の考え等を読み取るだけでなく、それに対する自分の考えを相手に伝え、表現できるようにする。 ○必要なことを記録したり、質問したりしながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの内容を捉えるようにする。 ○家庭学習や授業の中で、漢字練習に粘り強く取り組み、定着できるようにする。 ○国語の学習と関連させたり、みどり小読書ノートを活用したりして、さらに読書の幅を広げることができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○国語以外の授業でも国語辞典等を使う機会を設ける。普段から辞典を引く活動の場を取り入れる。 ○大事な言葉やキーセンテンスを捉えながら、読み取ることができるようにする。会話や行動に登場人物の心情が表れている部分に線を引くなど着目することを意識させて指導する。話し合い活動を積極的に行い、友達の意見を取り入れる意識を高めさせる。 ○メモの取り方を確認し、普段から端的にまとめられるように指導する。 ○自分の考えを相手に伝える表現方法の手本を示し、徐々に自分なりに表現できるように段階を踏んで指導する。 ○何についての話を捉えたいうで、メモに取るべきことは何かを考えさせながら聞くよう指導する。 ○毎日、家庭学習で計画的に漢字学習に取り組みせ、着実に漢字を身に付けさせる。 ○国語の教科書やみどり小読書ノートに載っている本を計画的に紹介する。本の紹介やビブリオバトルを行うことで、読書に興味をもたせる。
社会	<ul style="list-style-type: none"> ○東京都の位置や様子について、教科書や地図帳から、必要な情報を見付け、発表したりまとめたりすることができた。 ○水道の学習やごみの処理と利用について、映像や専門の方の話聞くことで、自分たちの生活はたくさんの人の工夫や努力で支えられていることを理解することができた。 ○学習したことや、自分の考えをワークシートにまとめることができた。 ○学習したことから、資源を守る意識が高まった。 	<ul style="list-style-type: none"> ○グラフや写真、表の資料など、正確に読み取ることができるようにする。 ○地域の関係機関、文化財や年中行事等は地域の人々の願いが込められていたり、協力をしていたりすることを理解できるようにする。 ○見学したことや調べたことを、内容に関係する資料を活用しながら、自分の考えを分かりやすく表現できるようにする。(まとめること、発表すること) 	<ul style="list-style-type: none"> ○資料の読み取り方を丁寧に指導し、読み取る練習を重ねていく。ペアや小グループで読み取ったことを共有することで、読み取りを確実にする。 ○学習の中で、社会事象が自分たちの生活に深く関わっていることに気付かせ、問題意識をもたせる。また、学習したことを生活の中で生かせるように指導計画を見直す。 ○見学したり、調べたりしたことをクラス全員で共有する時間を確保し、内容に即した資料を活用してまとめさせる。 ○学習したこと、資料から読み取ったこと、自分で考えたことを分けて発言したり、文章でまとめさせたりする。また、学習課題を自らもつようにし、それを解決するためにICT機器を活用するように指導する。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ○億、兆の単位を知り、十進位取りの理解を深めることができた。 ○三角定規や分度器の使い方を理解し、課題に取り組むことができた。 ○1桁でわるわり算の筆算の仕方を理解し、課題にすすんで取り組むことができた。 ○少人数学習、習熟度別学習を行うことで、一人一人が自分に合ったペースで課題に取り組むことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○問題場面を正しく捉えられるようにする。日常生活で学習したことが生かせるようにする。 ○新しい問題に対して、既習内容・事項を生かし解決できるようにする。 ○問題に対していつも自分の考えをもち、すすんで発言できるようにする。 ○基本的な四則計算を習熟できるようにする。 ○ICT機器を適切に活用して児童の学習理解や定着を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学習したことを日常の問題として捉えるように指導する。 ○既習事項の確認を丁寧に言い、学んだことを基に考えられるようにノート指導をする。また、問題場面を絵やテープ図を使ったり、問題文に下線を引いたりさせ、課題を把握させる。 ○ペアやグループ、全体に自分の考えを伝えることで、相手の考えを知ったり、自分の考えを整理したりすることができるようにさせる。 ○授業や家庭学習で繰り返し、計算問題に取り組ませる。また、ICT機器を活用して、習熟問題や応用問題にも取り組ませるようにする。
理科	<ul style="list-style-type: none"> ○動植物の観察や、空気、電流の働きについての実験を通して、基本的な技能を身に付けることができた。 ○空気や水の性質について、予想や仮説を考えて、表現することができた。 ○空気、電流の働きについて、一人に一つずつ器具を用意したことで、主体的に実験に取り組むことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○観察器具の使い方や実験準備の方法について、理解することができるようにする。 ○実験をする前に、既習事項や生活経験を生かして根拠のある予想を立てられるようにする。 ○対象物を正しく観察し、カードやICT機器で記録することができるようにする。 ○実験の結果と考察を区別して記録できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○観察や実験の手順を説明する際には、実物や絵など、視覚的な情報と合わせて指導する。児童が扱いやすい実験器具を用意する。 ○実験結果の記録の仕方と、課題や問題を基にした考察の仕方を指導する。 ○観察する視点を示すことで、具体的な書き方を指導する。 ○一人で考えたり、グループで話し合ったり、既習事項を振り返ったりするなど、予想を立てる時間を確保する。
音楽	<ul style="list-style-type: none"> ○旋律の特徴、重なりや繰り返し、問いかけと応答などを感じ取り、フレーズのまとまりに気を付けて表現を工夫することができた。 ○旋律と副次的な旋律を、それぞれのパートの役割を意識しながら演奏したり、リズムにのってクラッピングをしたりすることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○身に付けた知識や技能を活用し、友達と協力して表現を工夫し、どのように表現するか、一人一人の考えを言語化できるようにする。 ○リコーダーの音色を生かし、曲想にふさわしい表現で演奏できるようにする。 ○音楽表現の多様さやそのよさを理解して、表現や鑑賞できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○楽曲のよさなどを見出す場を設定し、曲想と音楽を形づくっている要素の関わりを理解して表現を工夫する。 ○自分や友達のリコーダーの音色を聴き、サミングやタンギング、フレーズを意識し、曲想にふさわしい表現に必要な技能を身に付ける。 ○楽譜や視覚情報を捉えて、曲想と音楽を形づくっている要素との関わりを理解しながら、鑑賞し、そのよさに気付いて聴くことができるようにする。

<p>図画工作</p>	<p>○水彩絵の具やパステルコンテ、身の回りの素材を使って、楽しく作品をつくることができた。色の組み合わせや重なりを工夫して表すことができた。 ○のこぎりで切った木を組み合わせて、生活で使えるものや飾って楽しめるものを工夫してつくることができた。</p>	<p>○様々な表現方法を知り、自分なりに構想して、作品を仕上げることができるようになる。 ○道具を正しく安全に取り扱いながら、つくりたいもののイメージを広げ、発想豊かに表現できるようになる。 ○美術作品を鑑賞し、友達と意見を交換する。お互いの意見のよさを見付けられるようになる。</p>	<p>○毎時間の指導や個別指導を充実させ、一人一人が意欲や自覚をもって活動できるよう学習環境を整える。 ○いろいろな技法を経験することによって、表現に幅をもたせるようにする。友達の作品を見て、表現のよさを見付けたり、グループで話し合ったりする。 ○美術鑑賞教室やICT機器を活用して、美術作品から受ける印象を大切に、自分なりの感想を持たせる。Chromebookを使い、友達や自分の作品を撮影し、交流する場を持つ。</p>
<p>体育</p>	<p>○走る運動では、調子よく運動する楽しさに触れ、その動きを身に付けることができた。特にリレーの学習では、チームで工夫しながら学習することができた。 ○マット運動では、前転系の技や後転系の技のポイントを理解し、自分なりに課題をもって練習をすることができた。 ○タグラグビーでは、練習を繰り返すことで種目の特性を理解し、少しずつ友達と協力しながら活動することができた。 ○ほとんどの児童が運動にすすんで取り組んだり、きまりを守って運動したりすることができた。</p>	<p>○自分の課題を把握し、それぞれの運動の特性に応じた技能を身に付けることができるようになる。 ○友達と力を合わせて活動することの楽しさを味わい、勝敗に対して、正しい態度を身に付けることができるようになる。 ○用具の準備や片付け、グループでの活動など、協力して安全に行えるようになる。</p>	<p>○自分の能力に適した課題をもって運動に取り組めるように、学習カードや場の設定の工夫をする。また児童に友達の動きを見るとき視点について指導することで、主体的に学び合いができるようになる。 ○グループ学習を取り入れることで、規則を守ることの大切さや、協力して楽しく運動できるよさを経験させる。 ○用具の準備や後片付けの手順を明確にしたり、安全に活動するための約束を活動前に指導したりする。</p>
<p>外国語活動</p>	<p>○英語だけでなく世界の様々な挨拶や生活の様子を知ることができた。 ○相手に配慮しながら、英語で自分の好きな遊びや曜日を伝え合うことができた。</p>	<p>○身の回りや自分のことについて、簡単な語句や表現を用いて、聞き取ったり伝えたりできるようになる。 ○友達同士のやり取りがより深まるようになる。</p>	<p>○デジタル教材を活用し、授業の導入に動画や歌、チャンツなどを取り入れる。動作や表情を加えて話すよう指導する。 ○児童の興味・関心が高まるような場面を設定する。また、既習した語句や表現を児童のやり取りの中で進んで使えるような活動を取り入れる。</p>
<p>道徳</p>	<p>○登場人物の気持ちの変化や様子について、教材文から想像し、考えることができた。 ○自分の考えを書き留める時間や友達との考えの交流の時間を取ったりしたことで、自分の考えを進んで全体に発表することができた。 ○様々な価値項目を学習することで、日常生活の中で、思い出して話す姿が見られた。</p>	<p>○友達との交流を通して、相手の考えに対して感じたことを伝え合うなど、考えを深めることに取り組むようになる。 ○主人公の気持ちの変化や思いを考え、自分の経験について、道徳的価値と結び付けることができるようになる。 ○学んだことを日常で振り返り、実践力に結び付けられるようになる。</p>	<p>○話し合いの仕方を付箋やジャムボード等を使用し、幅広く他者の考えを知る機会を増やし、より対話的な学びができるように工夫をする。 ○発問の工夫や友達の経験や説話からヒントを得て、自分を振り返るきっかけがスムーズに行えるようになる。 ○より実践力に結び付くよう、終末の話を工夫する。</p>